

令和2年度事業計画

我が国においては、少子高齢化が進み、同時に労働人口も減っております。そのようななかで、成長力を確保していくために、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要であるといわれています。

多くの高齢者がまだまだ元気で、社会や地域の支える側に回った方が、生きがい、やりがいや健康そのものも改善するということが、様々な研究から実証されています。

このような中で、当シルバー人材センターは富士見市、ふじみ野市及び三芳町の高齢者に、地域の公共団体、様々な企業やご家庭から依頼される仕事を提供することにより、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、「生涯現役社会」の実現を果たす役割を担っており、併せて、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を実行し、地域社会の活性化と医療費や介護給付費の削減に寄与しているところです。

厚生労働省は平成30年に、高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドラインの中で、保健事業に求められるポイントとして、「体重や筋肉量の減少を主因とした低栄養等のフレイルに着目した対策が必要。」としています。フレイルとは、年齢とともに心身の活力（筋力や認知機能など）が低下して、要介護状態に近づくこととされています。フレイル状態に陥るのを防ぐためには「栄養」「体力」「社会参加」が重要です。シルバー人材センターに入会し働くこと、ボランティア活動やサークル活動など人とつながり、一緒に活動することが若さを維持することになります。

当シルバー人材センター会員の平均年齢は、74.1才（男性74.6才、女性73.1才）となっています。最高齢の就業会員は88才の男性です。また、年齢構成は、70才以上が79%を占めており、約8割の会員が70才以上であることがわかります。仕事をしている会員のうち80才以上の方は207人となり、高齢者のゴミ出し支援、公園の清掃、マンション清掃や広報紙の配布など行っています。（令和1年12月現在）

元気で長く仕事や仲間との活動ができるよう、安全対策やフレイル予防等新たな事業に取り組みます。そして、サポーター制度2年目となりますが、やる気のある会員が活躍できるように各種事業を進めていきます。

- 1 事故0を目指して、安全就業対策を進めます
 - ① 会員の健康づくりを支援します
 - ② 仕事別グループによる就業現場の安全管理の推進
 - ③ 安全委員会による就業現場の巡回による安全確認の実施
 - ④ 安全就業義務違反の取扱いについて周知し実施
 - ⑤ 安全担当者による作業道具、機材の使用方法、点検管理の推進
 - ⑥ 各種講習会の開催

- 2 シルバー人材センターらしい仕事を目指して、適正就業を推進します
 - ① 仕事別グループの設置促進、育成
 - ② 仕事別グループ運営の指針による運営の自己チェックの推進
 - ③ 就業交替制度の新たな対象業種の検討、追加
 - ④ 就業に係る契約内容の確認、適正化への改正
 - ⑤ 各種講習会の開催

- 3 あらゆる機会を通じて、就業機会を確保します
 - ① 定期的に営業会議を開催し、効果的な営業活動の展開
 - ② 公共機関等から新たな仕事の獲得
 - ③ 家事援助事業の積極的な展開
 - ④ 一般労働者派遣事業及び有料職業紹介事業の実施

- 4 強固な組織づくりを進めます
 - ① 会員サポーター制度の周知及び推進
 - ② あらゆる機会を通じて会員増加への取り組みの推進
 - ③ 入会説明会の内容充実を図る
 - ④ 未就業会員の状況把握と就業促進
 - ⑤ 財政基盤の確立

- 5 会員の融和を進めます
 - ① 各種イベントの開催
 - ② サークル活動の支援
 - ③ ボランティア活動の推進

- 6 積極的なPR活動を推進します
 - ① 各種行事への参加
 - ② センターのPRチラシ等の作成、活用
 - ③ 市町広報紙の活用
 - ④ 会員への事業運営状況の周知
 - ⑤ センター広報紙の発行